

氷ノ山の蛾類について (第三報)

山 本 義 丸

本報は1956年7月6～7日に筆者単独で、また同8月10～13日及び1957年7月21～24日に柏原高校生物研究会として行つた計3回の調査の結果である。前2報に追加すべきものを得たので報告する。

1956年までの6回の調査はいずれも氷ノ山の北面(熊次側)のものであつたが、1957年には南面(西谷側)から行つた。大屋町後から横行を経て進む長い溪流沿いの路である。これは後からの登山コースであり、従来守本陸也氏等によつて度々昆虫相の調査が行われている谷である。今回の主な採集地は横行の部落から約4km奥の地点(海拔約600)と、さらに3kmばかり上流の杉木立の中の山小屋(海拔約900)とである。下山の日以外は3日間共雨が降つたり止んだりの梅雨空で、採集は思いにまかせなかつたが、この谷は熊次側に比して植物が一層よく茂つて居り、昆虫相もすばらしく豊富であらうと想像された。山小屋の付近では夜はヒメボタル(イブキボタル)が多勢飛び交ひ、高地性の蛾も飛来した。異例の天候不順が悔まれるが今後の再調査を期したい。この採集行についてお世話になつた守本陸也氏、西谷小学校並に同横行分校の各位に厚く御礼申上げる。

標本の一部は井上寛氏並に杉繁郎氏の同定によるものであつて、ここに深謝の意を表する。

目 録

各科ごとに種につけた番号は前報に続く一連のものである。

ARCTIIDAE ヒトリガ科

14. *Eilema conformis* Walker ツマキホソバ
15. *Parasiccia altaica* Lederer ホシオビコケガ
16. *Spilosoma lubricipeda* Linné

キハラゴマダラヒトリ

NOCTUIDAE ヤガ科

128. *Agrotis brunnea* Schiffermüller シロテンヤガ
129. *Orthogonica sera* Felder ノコメセダカ
130. *Trachea tokiensis* Butler

コアオバハガタヨトウ

本種は伯耆大山でも得ているが氷上郡地方では未知である。山地性であらう。

131. *Trachea askoldis* Oberthür
コマエアカシロヨトウ
従来 *T. yoshinoensis* Wileman の名が用いられて

いたものである。本種も氷上郡では未知である。

132. *Chytonix segregata* Butl. チャオビヨトウ
133. *Bryomoia melachlora* Staudinger
134. *Acronicta niveosparsa* Matsumura
シロフクロケンモン
135. *Calymnia exigua* Butl. イタヤキリガ
136. *Calymnia moderata* Stauding. キンダキリガ
上記2種は北方のもので本州では山地性である。まだ県下からは得たことがない。
137. *Phragmatiphila turpis* Butl. テンオビヨトウ
138. *Stenoloba jankowskii* Oberth. シロスジコヤガ
139. *Lithacodia distinguenda* Stauding.
シロマダラコヤガ
140. *Lithacodia numisma* Butl.
141. *Lithacodia stygia* Butl. ウスシロフコヤガ
142. *Sarothripus revayana* Scopoli.
クロスジキノカワガ
143. *Sinna extrema* Walker アミメリンガ
144. *Kerala decipiens* Butl. ハネモンリンガ
本種は中部山岳地帯、奥日光等には極く普通であるが、山地性のものであつてまだ県下からは得ていない。杉の山小屋付近で1頭採集した。
145. *Ercheia niveostrigata* Warren
モンクロシロモクメ
146. *Plusia chryson* Esper オオキンウワバ
147. *Ophiussa recta* Bremer ヒメクビヒロセダカ
148. *Pangrapta obscurata* Butl.
リンゴツマキリアツバ
149. *Latirostrum japonicum* Miyake テングアツバ
地蔵堂の付近でミヤマハハソの枝上から1頭の幼虫を得て飼育したものである。幼期の形態についてすでに報告した(生態昆虫、5(13)、130—132、1956)が、幼虫は腹脚4対共に有する semi-looper であつて、アツバ亜科のものとしては異例に属する。
150. *Badiza notigera* Butl. シラナミクロアツバ
151. *Bocana spacoalis* Walk. シロスジアツバ
152. *Rhynchina kengkalis* Brem. ソトウスアツバ

SPHINGIDAE スズメガ科

8. *Callambulyx tatarinovi* Brem. et Grey
ウンモンズズメ

THYATIRIDAE (=CYMATOPHORIDAE) トガリバ科

6. *Betapsestis takeuchii* Matsum.
タケウチトガリバ

本州、四国、九州の山地に産するが少いようである。次の種と共に県下からはまだ得ていない。

7. *Parapsestis umbrosa* Wileman
ウスジロトガリバ

本種は中部山岳地帯には普通である。

8. *Parapsestis argenteopicta* Oberth.
ギンモントガリバ (ギンボシトガリバ)

9. *Tethea ampliata* Butl. オオバトガリバ

10. *Tethea intensa* Butl. ホソトガリバ

NOTODONTIDAE シヤチホコガ科

24. *Tarsolepis japonica* Wilem. et South
ギンモンズズメドモドキ

大形美麗のスズメガ形をしたシヤチホコガである。氷上郡妙高山でも得ているが、山地性のものである。

25. *Urodonta viridimixta* Brem.
シロテンシヤチホコ

山地性。北方には普通のようなものであるが、県下ではまだ得ていない。次の種も同様である。

26. *Hagapteryx admirabilis* Stauding.
ハガタエグリシヤチホコ

地藏堂からさらに数百m上手で灯火採集を行つた。本種は中部地方の山地には多い。

27. *Lophopteryx longipennis* Inoue
ナガエグリシヤチホコ

1955年に記載された種で、エグリシヤチホコに似ているが翅が細長く赤味が強い。山梨県夜叉神峠・群馬県熊ノ平・志賀高原・四国面河溪が産地として記録されている。地藏堂の上手で採集した。

28. *Lophontesia pryeri* Butl.
ブライヤエグリシヤチホコ

29. *Pseudofontonia delia* Leech
フタジマネグロシヤチホコ

一名フタジマシヤチホコ。山地性でまだ県下からは得ていないが、綾部地方には記録がある。

30. *Shachia circumscripta* Butl.
ニツコウシヤチホコ

31. *Desmeocraera punctatella* Motschulsky
ブナアオシヤチホコ

上記2種共に山地性であつて、県下に他の産地を知らない。30は杉の山小屋で、31は地藏堂で採集した。

32. *Spataliodes dives* Oberth. ギンモンシヤチホコ

GEOMETRIDAE シヤクガ科

96. *Ourapteryx obtusicauda* Warren
コガタツバメエダシヤク

97. *Tristrophis subpunctaria* Leech
ヒメツバメエダシヤク

山地性と思われる。大台ヶ原山の頂上には多かつた。県下からはまだ得ていない。

98. *Selenia adustaria* Leech
ウスムラサキエダシヤク

北海道及び本州・四国の山地に産し、少い種である。ともれ県下からは未知であつた。

99. *Anagoga pulveraria japonica* Butl.
コナフキエダシヤク

100. *Zanclidia testacea* Butl.
キマダラツマキリエダシヤク

北海道には普通のようなものであるが、本州では中部山地、四国では面河溪が産地として知られている。杉の山小屋で1頭採集した。関西では未記録かと思われる。

101. *Zethenia rufescentaria* Motsch.
ミスジツマキリエダシヤク

102. *Scionomia sinuosa* Wilem.
コツマキウスグロエダシヤク

103. *Scionomia mendica* Butl.
ソトキクロエダシヤク

104. *Bizia aexaria* Walk. ツマトビキエダシヤク

105. *Xandrames dholaria sericea* Butl.
ヒロオビオオエダシヤク

106. *Rectopis sinearia noctivorans* Butl.
ウスグロナミエダシヤク

107. *Ectropis excellens* Butl.
オオトビスジエダシヤク

108. *Ophthalmodes irrorataria* Brem. et Grey
コヨツメエダシヤク

109. *Arichanna melanaria fraterna* Butl.
キシタエダシヤク

110. *Culcula panterinaria sychnospilas* Prout
キオビゴマダラエダシヤク

111. *Chloroclystis rectangularata* L.
リンゴアオナミシヤク

112. *Trichodezia kindermanni leechi* Stauding.
シラフシロオビナミシヤク

113. *Sibatania mactata* C. et R. Felder
ピロウドナミシヤク

114. *Ecliptopera umbrosaria* Motsch.
オオハガタナミシヤク

115. *Ecliptopera decurrens illitata* Wilem.
セスジナミシヤク

116. *Lygris ledereri inurbana* Prout
ウストビモンナミシヤク

117. *Telenomeuta punctimarginaria* Leech
テンツマナミシヤク

118. *Heterophleps fusca* Butl. ウスクモナミシヤク

119. *Asthena anseraria corculina* Butl.
キムジシロナミシヤク

120. *Hydrelia nisaria* Christoph
チンガンナミシヤク

121. *Sterrha remissa* Wilem.
ホソスジキヒメシヤク

122. *Jodis praerupta* Butl.
マルモンヒメアオシヤク

123. *Hemistola veneta* Butl. コシロスジアオシヤク

124. *Hemithea aestivaria* Hübner
キバラヒメアオシヤク

125. *Gelasma illiturata* Walk.
ヒロバツバメアオシヤク

BOMBYCIDAE カイコガ科

1. *Theophila mandarina* Moore クワゴ

COCHLIDIONIDAE イラガ科

4. *Narosoideus flavadorsalis* Stauding. ナシイラガ
5. *Ceratonema butleri* Kawada ウストビイラガ
6. *Microleon longipalpis* Butl. テングイラガ
7. *Kitanola speciosa* Inoue クロマダライラガ

1956年に記載されたもので、模式産地は長野県高瀬溪谷葛温泉、長野県発喃温泉及び氷ノ山である。氷ノ山の1回目は副模式標本になっている。K. *uncula* Stauding. マダライラガに近似しているが黒斑が著しい。

LASIOCAMPIDAE カレハガ科

4. *Dendrolimus spectabilis* Butl. マツカレハ

DREPANIDAE カギバガ科

11. *Auzata superba* Butl. ヒトツメカギバ
12. *Deroca phasma* Butl. ホシベツコウカギバ
ウスホシベツコウカギバと呼ばれるものも同種である。屋飛性である。
13. *Albara scabiosa* Butl. マエキカギバ
14. *Psiloreta turpis* Butl. クロスジカギバ

AEGERIIDAE スカシバガ科

2. *Paranthrene bicincta* Walk. フタスジスカシバ

PYRALIDIDAE メイガ科

7. *Paratalanta ussuralis* Brem. フチグロノメイガ
8. *Pseudebulea fentoni* Butl. モンスカシキノメイガ
9. *Prodasyncnemis inornata* Butl. キムジノメイガ
10. *Diasemia litterata* Scopoli シロアヤヒメノメイガ
11. *Loxostege palealis* Schiff. et Denis ウラグロシロノメイガ
12. *Maruca testulalis* Geyer マメノメイガ
13. *Circobotys nycterina* Butl. カギバノメイガ
14. *Glyphodes quadrimaculalis* Brem. et Grey ヨツホシノメイガ
15. *Palpita nigropunctalis* Brem. マエアスカシノメイガ
16. *Syllepte inferior* Hampson ヨツメノメイガ
17. *Syllepte derogata* Fabricius ワタノメイガ
18. *Syllepte fuscomarginalis* Leech クロヘリノメイガ
19. *Syllepte balteata* Fabr. クロスジキノメイガ (ヘリクロキン)

20. *Syllepte luctuosalis* Guenée モンキクロノメイガ
21. *Syllepte tricolor* Butl. モンシロリノメイガ
22. *Goniorhynchus exemplaris* Hamps. クロスノメイガ (オオクロヘリキ)
23. *Hedylepta commixta* Butl. シロテンキノメイガ
24. *Dichocrocis chlorophanta* Butl. ホソミスジノメイガ
25. *Tyspanodes striata* Butl. クロスジノメイガ
26. *Pycnarmon pantherata* Butl. クロオビノメイガ
27. *Pycnarmon lactiferalis* Walk. ゴマダラノメイガ
28. *Piletocera sodalis* Leech コガタシロモンクロノメイガ
29. *Camptomastix hisbonalis* Walk. ハナダカノメイガ
30. *Hirayamaia regalis* Leech キンボシシマメイガ (モンキアカシマ)
31. *Hypsopygia regina* Butl. トビイロシマメイガ
32. *Cataprosopus pauperalis* Leech トビモンフタスジトガリメイガ
33. *Endotricha consocia* Butl. ウスオビトガリメイガ (ヘリグロトガリ)
34. *Stericta ficki* Christoph ナカムラサキフトメイガ
35. *Nephopterix bicolorata* Leech ナシアカシマダラメイガ
36. *Emmalocera leucocincta* Walk. マエシロホソメイガ
37. *Argyria interruptellus* Walk. ホソスジツトガ
38. *Crambus obliterans* Walk. サツマツトガ
39. *Crambus striatellus* Leech クロスジツトガ
40. *Crambus nigripunctellus* Leech キスジツトガ
41. *Crambus diplogrammus* Zeller ウスクロスジツトガ
42. *Lamoria ruficostella* Ragonot アカフツツリガ

附 記

調査未了の標本がまだ若干あるが、次の機会に報告したい。3報を通じて記録した種類数は434種となるが、このうち70種以上が氷上郡地方からはまだ採れて居ないもので、なかには稀産の種や高地性のものを少なからず含んで居り、氷ノ山の蛾相が当地方としては特異であることがうかがわれる。

会 費 年 300 円 に 増 額

昨年5月、姫路市立高校での10周年記念会の折、会費増額の件が承認され、昭和33年度より300円(但し、送料などは本会の負担)に決定しました。至急同封の振替用紙でお送り下さいますよう、お願いします。